



西海市

No.  
53

2019年2月5日  
発行

# 議会

だより

*The SAIKAI  
Municipal  
Assembly  
News*



早春の「戯れ」

撮影：福田輝俊氏（西海町）

## おもな内容

平成30年第4回西海市定例会……………	P2～P3
常任委員会審査報告……………	P4～P5
一般質問ほか……………	P6～P13
常任委員会調査報告……………	P14
NBCデータ放送の紹介……………	P15
議場システム、インターネット中継について……………	P16
市民の声……………	P17
議会クイズ、編集後記……………	P18

# 平成30年第4回議会定例会

会期：平成30年11月30日～12月14日（15日間）

第4回定例会で審議された議案等は、市長提出議案21件（報告案件1件を含む）、発委1件です。

委員会に付託された議案は、各委員会において審査されました。

## 【付託内訳】

総務文教常任委員会……………6件  
 産業建設常任委員会……………8件  
 厚生常任委員会……………4件  
 予算決算常任委員会……………2件

市政一般質問は12月4日から7日までの4日間行われ、15人の議員が質問を行いました。（市政一般質問の概要については、6ページから13ページに掲載。）

定例会最終日には、討論があった3件の議案について、本定例会から導入した電子採決システムによる採決を行い、左記のとおり結果となりました。

閉会中の継続調査は、産業建設常任委員会から「本市における上下水道事業の現状と今後について」、厚生常任委員会から「地域医療を守る取組みについて」の申し出があり、決定されました。また、「西九州さそほ広域都市圏」連携協約締結式への議員派遣が決定されました。

議会閉会中の継続調査については、調査終了後に議会だよりで報告します。

## 平成30年第4回西海市議会定例会で審議した案件及び結果

議案番号	件名	付託委員会等	議決の結果
報告第26号	バス停待合所倒壊による車両破損事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについての専決処分の報告について	本会議	報告済み
議案第69号	西海市職員の給与に関する条例及び西海市特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第70号	長崎県市町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び長崎県市町村公平委員会共同設置規約の変更について	総務文教	原案可決
議案第71号	財産の取得について	総務文教	原案可決
議案第72号	佐世保市及び西海市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について	総務文教	原案可決
議案第73号	西海市企業立地奨励条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第74号	西海市手話言語条例について	厚生	原案可決
議案第75号	西海市療育支援相談センターの指定管理者の指定について	厚生	原案可決
議案第76号	市道の路線廃止について	産業建設	原案可決
議案第77号	平成30年度西海市一般会計補正予算（第3号）	予算決算	原案可決
議案第78号	平成30年度西海市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	厚生	原案可決
議案第79号	平成30年度西海市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	産業建設	原案可決
議案第80号	平成30年度西海市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	産業建設	原案可決
議案第81号	平成30年度西海市交通船特別会計補正予算（第1号）	総務文教	原案可決
議案第82号	平成30年度西海市介護保険特別会計補正予算（第2号）	厚生	原案可決
議案第83号	平成30年度西海市水道事業会計補正予算（第2号）	産業建設	原案可決
議案第84号	平成30年度西海市工業用水道事業会計補正予算（第1号）	産業建設	原案可決
議案第85号	西海市大瀬戸やすらぎ交流拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	原案可決
議案第86号	西海市大瀬戸やすらぎ交流拠点施設の指定管理者の指定について	産業建設	原案可決
議案第87号	西海市西彼農村環境改善センターの指定管理者の指定について	産業建設	原案可決
議案第88号	平成30年度西海市一般会計補正予算（第4号）	予算決算	原案可決
発委第2号	西海市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について		原案可決

## 第4回議会定例会賛否一覧

※意見が分かれた議案等を掲載しています。

議案名	党派	西風会			創生会			自民党眞清の会	保守無所属の会	志政会		創造西海			議決結果	賛成：反対					
	議員名	瀧瀬 栄子	内野 繁樹	中尾 清敏	宮本 一昭	杉山 誠治	浅田 直幸	佐嘉田 敏雄	平野 直幸	戸浦 善彦	朝長 隆洋	中里 悟	田嶋 耕太	平井 満洋			小嶋 俊樹	田川 正毅	清水 正明	永田 良一	岩本 利雄
議案第69号 西海市職員の給与に関する条例及び西海市特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	16：1
議案第71号 財産の取得について		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	原案可決	16：1
議案第72号 佐世保市及び西海市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について		●	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	16：1

賛成：○ 反対：●

### 討論の要旨

**議案第69号** 西海市職員の給与に関する条例及び西海市特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

#### 賛成討論

○瀧瀬 栄子議員

職員の適正な給与の確保は、職員の努力や実績に報いるとともに、人材確保にも資するものであり、組織活力の向上、行政の安定的な運営に寄与するもの。職員には地方公務員法第30条服務の根本基準を肝に銘じ、市民の信頼と理解を得られる職務遂行を求めて賛成とする。

議案第71号 財産の取得について

#### 反対討論

●清水 正明議員

国交省が定めた公共用地の取得に伴う損失補償基準要綱及び西海市用地取得及び処分基準を逸脱して取得価格が決定されていること、また、取得対象の用地で市道に供されるものに有償であるものと無償であるものがあり、整合性が取れていないことから反対する。

#### 賛成討論

○朝長 隆洋議員

過去の経緯を踏まえ、土地の購入

が市民の負担の軽減となるため、賛成する。

○田川 正毅議員

借地料総額として合併以後5億円以上の借地料が支払われており、早急な解消が必要。これまでの経緯等を考慮しても購入の判断は正しいと考え、賛成する。

議案第72号 佐世保市及び西海市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について

#### 反対討論

●瀧瀬 栄子議員

連携中枢都市圏形成に伴う西海市から佐世保市への転出超過がさらに進む懸念、県と佐世保市が推進するハウステンボスへのカジノを含む総合型リゾート誘致への協力反対、佐世保市への公共交通機関が乏しい西海市民が行政サービスを受けにくくなるという懸念により、反対する。

#### 賛成討論

○朝長 隆洋議員

今後の人口減少問題には地域間の連携や協力による対策が有効。連携中枢都市圏形成がその大きな役割を果たすと考え賛成する。

○田川 正毅議員

西海市が独自に行う事業と広域連携で行う事業を選択することができ、独自性は保たれる。地域間の協力は必要と考え賛成する。

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会では、条例案2件、補正予算案1件、その他の議案3件の審査を行いました。主な審査の内容は次のとおりです。

**議案第69号 西海市職員の給与に関する条例及び西海市特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について**  
原案可決

この議案は、公務員給与と民間給与の格差を是正し、あわせて給与制度の見直しを示された平成30年人事院勧告及び国の法改正に鑑み、また長崎県下各団体の対応状況を踏まえ、所要の改正を行うものです。

**質疑** 公務員給与と民間給与の格差は正と云うことだが、西海市内においても民間給与との格差は正になると云えるのか。

**答弁** 全国的な官民の格差を出して、県も県の人事委員会も国の人事院と合同で調査をし、人事委員会を持たない西海市は、これを参考として官民格差を是正するというもの。

**議案第71号 財産の取得について**  
原案可決

この議案は、三井松島ホールディングス株式会社から賃借し、大島文化ホール駐車場等の敷地として利用している土地全28筆を公共の用に供するために取得するものです。

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会では、補正予算案4件、条例案1件、その他3件について審査を行いました。主な審査の内容は次のとおりです。

**議案第72号 佐世保市及び西海市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について**  
原案可決

この議案は、地域が抱えるさまざまな課題に対し、自治体相互に強みを伸ばし、弱みを補完しながら圏域全体を活性化し持続可能な魅力ある地域社会の発展へとつなげていき、人口減少、少子高齢化社会においても一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持することを目的としています。

**議案第76号 市道の路線廃止について**  
原案可決

この議案は、大瀬戸町の市道冷水路について、水源林造成事業により作業道として改良することに伴い、路線を廃止するものです。

**質疑** 水源林の造成はどのようにするのか。

**答弁** 水源林造成事業は補助事業であり、西海市と長崎南部森林組合、森林研究・整備機構の三者で分取造林契約を結び、造林作業、道路整備、木の育成などを長崎南部森林組合が行い、森林研究・整備機構は造林費を負担し、西海市は土地の提供のみを行う。

**議案第85号 西海市大瀬戸やすらぎ交流拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について**  
原案可決

この議案は、現在「音浴博物館」として親しまれている、西海市大瀬戸やすらぎ交流拠点施設の休館日及び利用料金について条例を改正するものです。

この改正により、休館日は月曜日

から木曜日となり、大人ひとりあたり510円の利用料金は、10000円を上限として定めることが可能となりました。



音浴博物館（大瀬戸町）

**議案第87号 西海市西彼農村環境改善センターの指定管理者の指定について**  
原案可決

この議案は、西彼農村環境改善センターの指定管理業務について、指定管理者選定委員会に諮った上で決定された候補者を当該施設の指定管理者として指定するため議決を求めたものでした。審査前日の現地視察を経て、決定された団体の活動内容や、施設の稼働状況などについて、委員より執行部へ質疑があり、賛成意見を示す討論を経て原案可決となりました。

厚生常任委員会

厚生常任委員会では、条例案1件、補正予算案2件、その他1件の審査を行いました。主な審査の内容は次のとおりです。

議案第75号 西海市療育支援センターの指定管理者の指定について  
原案可決

平成31年3月31日に指定期間が終了する西海市療育支援相談センターの指定管理者の指定について、引き続き平成31年4月1日から平成36年3月31日までの5年間、社会福祉法人三恵会を指定管理者として指定することについて、地方自治法の規定により議会の議決を求めるものです。



西海市療育支援相談センター 陽だまり (西彼町)

**質疑** 昨年度まで毎週行われていた放課後デイサービスは、今年度か

ら隔週での実施となっているが、新たな指定管理期間では改善される方向か。

**答弁** 保育所等訪問支援事業を開始したことで充足しており、問題等も生じていないため、現行どおりとしていきたい。

議案第74号 西海市手話言語条例の制定について  
原案可決

手話が言語であることの認識に基づき、手話に対する理解の促進と手話の普及を図ることにより、全ての市民が互いに助け合いながら安心して暮らすことができる共生社会を実現するため、条例を制定するものです。

**質疑** 当該議案を提出するにあたり、関係機関との協議等はどういったものか。

**答弁** 条例案について手話サークルとの意見交換を2回実施し、西海市障害者等自立支援協議会での条例案の審議を経て最終案を確定し、提出に至っている。

議案第82号 平成30年度西海市介護保険特別会計補正予算(第2号)  
原案可決

保険事業勘定の既存の予算に6401万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を36億9151万円とするものです。補正の主な内容は、保険給付費及び地域支援事業費について、決算見込みにより増減を行うものです。

予算決算常任委員会

予算決算常任委員会では、補正予算案2件の審査を行いました。各議案の審査結果及び主な審査内容は次のとおりです。

議案第77号 平成30年度西海市一般会計補正予算(第3号)  
議案第88号 平成30年度西海市一般会計補正予算(第4号)  
原案可決

<b>〔補正額〕</b>	
補正前	221億3977万1千円
追加額(第3号)	11億5714万2千円
追加額(第4号)	3億9261万1千円
補正後	236億8952万4千円

〔歳出〕  
◎賦課徴収費

補正額 2234万5千円

共同住宅敷地の課税において、特例措置が適用されていない土地の所有者に固定資産税を還付するもの。

**質疑** 財源が一般財源であるが、他の事業に影響は出なかったのか。

**答弁** この還付金を計上することによって他の事業に影響を与えることはない。

◎小中学校校舎空調設備整備事業

補正額 3億9261万1千円

小中学校の教育環境整備として、全ての普通教室に空調設備の整備を行うもの。

**質疑** 来年の夏休み前までに設置完了と説明があったが、そのスケジュールで地元の事業者が整備を請け負ってもらうことができるのか。

**答弁** 当初計画では32年度までの2年間の計画であった。今回の計画で、来年の夏休み前までとなり、非常に厳しい日程となる。早期着工できるように入札方法を検討していく。





# 一 般 質 問



いわもと とし お 議員  
**岩本 利雄**

## 予算精度を上げて 歳出決算の不用額を削減せよ

**問** 平成29年度の一般会計及び特別会計における歳出決算の不用額は、14億6149万5359円と巨額である。また、一般会計の実質収支比率は、一般的に3～5%の範囲内であれば財政運営に問題ないとされているが、29年度は6・93%と高く余剰金が多額に発生しており、不用額が必要以上に多いことを示している。予算編成の折には歳出予算にマインス5%の\*シーリングをかけるとのことだが、5%の不用額を発生させれば、そのシーリングの意味が全くなくなる。やりたい事業を苦勞して削っても、多額の不用額を発生させれば、それらの作業は無駄になり、終局的には行政サービスの低下であると考える。毎年度決算審査の折に不用額の多さを指摘しても、一向に改善されていない。効率的な予算配分と的確な予算見積りに基づく予算編成努力が必要である。不用額の要因を分析し、次年度の予算編成



西海市役所本庁舎

に活かす取組みにより、実質収支比率を3%に近づける努力が必要である。市長の不用額に対する見解を伺いたい。

**市長** 一般会計においては、年度中の情勢の変化や競争入札における執行残、国県費等を財源とする事業費の執行残等で、年度末の最終専決補正による決算調整を行っていないため、歳出の不用額が多額となっている。特別会計においても、国民健康保険特別会計の国県費を財源とする事業費の執行残によるものが主な要因となっている。このため、次年度の予算編成に当たっては、不用額が発生した要因を十分精査し、効率的で弾力的な予算配分に努める。

\*シーリングとは  
予算要求の限度額を示す基準



こじま とし き 議員  
**小嶋 俊樹**

## 外国人労働者の受入状況について

**問** 既に市内企業で働いている外国人労働者を含め、受入状況について熟知しているか。

**市長** 11月22日現在、約270名の外国人労働者の受入れを確認している。内訳は、大島造船所が受け入れている技能実習生及び就労者が約250名、国の許可を受けた長崎県中小企業ビジネス支援協同組合を介した22名となっている。

現時点では法改正に伴う詳細な制度設計は行われていない。今後、国の動向を注視しながら支援策を検討したい。

**問** 就業するための日本語教育などの支援は政府で実施するが、地域社会での生活や文化的交流などは、基礎自治体である市で対応するべきではないか。

**市長** 外国の方にとって暮らしやすいまちづくりを進めることが必要不可欠で、国、県、市、受入企業はどのような役割を担うのか、また、どのような負担をするのかなど不透明な点もあるが、環境づくりについては市が担うべき部分が大きいと考えて、受入企業とも意見交換をしながら今後検討したい。

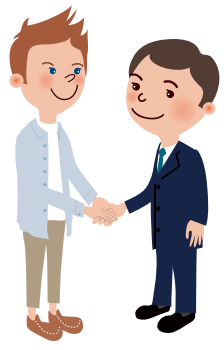
**問** 造船業をはじめ、市内企業、一次産業における外国人労働者の受入れ計画を把握しているか。

**市長** 大島造船所では、労働力の不足の状況に応じて受入を拡充する予定と聞いているが、市内事業所から外国人研修生受入の要望はなく、一次産業においては県の国家戦略特区に係る国への提案を行っており、関係機関による協議が進められている。

## 外国人による土地取得問題について

**問** 外国人土地法が存在しながら、政令で制限することができない状況である。安全保障上重要な地域にある本市の状況は。

**市長** 現在、外国法人が所有する土地はなく、個人所有は土地と建物を合わせて5名である。国において法整備がなされていないため、規制することは困難である。





# 一 般 質 問



こ せ い ぶ ち 議員 栄子 瀨 川

## 休日保育について

**問** 祝日法の改正に伴う4月27日から5月6日の10連休期間の保育を心配する声がある。保護者のニーズに応えるために保育事業者を支援できないか。

**市長** 父母とも日曜日や祝日に就業しなければならぬ家庭にとつて、大型連休中の保育の確保は深刻な問題と考える。今後の国の動向に注視しながら、祝日における保育施設の開所など保育会と協議したい。

## 大瀬戸地区まちなか活性化について

**問** 旧瀬戸地区公民館跡地等にビジネスホテルを誘致したことをきっかけとして、大瀬戸地区まちなか活性化をどのように進展させるのか。

**市長** ホテル誘致をビジネスチャンスと捉え、積極的な営業や集客に努めていただきたい。市としても、ホテル事業者に地元への優先発注の働きかけや市内への宿泊を組み込んだ旅行商品の造成を旅行会社社に働きかけるなど取り組んでいきたい。

## 水道事業について

**問** 水道事業統合計画では、新しい浄水場を建設して伊佐ノ浦水源から瀬戸地区に配水することになっていたが、未だ水道事業会計にダイヤソルト原水料の記載があるのはなぜか。

**市長** 大島地区と瀬戸地区へは、新たに建設した中浦浄水場から1日3250トン水を配水している。両地区の1日の使用水量は3千トンであり通常は配水可能であるが、大島地区の事業者が大量に使用し、瀬戸地区への配水が不足した場合は現在もダイヤソルト(株)からの原水を利用しているため、原水料が発生している。



中浦浄水場 (西海町)

その他の質問  
● 漁業権について

## 市有地の貸付料について

**問** 前定例会において、固定資産税評価額を土地評価価格としたため、市有地の貸付料が過少な徴収額となっていると指摘した。市長の見解を伺う。

**市長** 適正と判断している。  
**問** 時価相当額を土地評価価格の110%としているが、その理由を伺う。

**市長** 土地時価相当額を前年分の相続税課税標準価格としていた旧町の貸付基準を参考としている。

**財務課長** 市の固定資産税評価額の110%なので、国税の相続税評価額と認識している。

## 公有財産の購入について

**問** 西海町中浦地区における土地購入について土地評価の方法を伺う。

**教育長** 固定資産税評価額を基に算出した取得基準算定額は、1平方メートル当たり6160円であるが、地権者との交渉結果及び公共施設としての価値並びに大島町での土地購入価格を考慮した上で、購入単価を決定した。



あ き ま さ し む 議員 正明 清水

**問** 同地区の公示価格(基準地価)は、1平方メートル当たり5000円である。その価格を基に土地評価すべきと考えるが、大島町での土地購入の状況を考慮する理由を伺う。

**教育次長** 交渉の結果、両者の協議が決着した購入単価としている。

## 適正な保育の実施義務について

**問** 本市における保育所の利用調整及び地域の実情に応じた体制整備についてどのように取り組んでいるのか伺う。

**市長** 利用調整については、保護者が希望する保育施設を利用することを基本としている。また、地域の実情に応じた体制整備については、こども課や各総合支所の窓口において、各施設の適格な情報提供に努めている。





# 一 般 質 問



ながた りょういち  
**永田 良一** 議員

## 農業振興について

**問** 本市の農業振興について、具体的な政策と、本年度における耕作面積、農家戸数及び農業生産額、主要農産物並びに耕作放棄地の状況を伺う。

**市長** 農業振興の具体的な取組みとして、短中期的に既存農作物のブランド化による農業所得向上対策、基盤整備事業の早期実現を目指し、長期的施策として新規作物の普及を促進する。耕作面積2270ヘクタール、農家戸数963戸、農業生産額約117億9千万円、主要農産物は、ミカンが357ヘクタール、水稲が305ヘクタール、大根が61ヘクタールとなっている。耕作放棄地は、2810ヘクタールである。

## ほ場整備の推進による地域の活性化について

**問** ほ場整備事業の効果を営農のみならず、多目的に波及させるためには、どのような取組みが必要と考えるか。

**市長** 基盤整備事業が進んでいる他の自治体では、農家の次男、三男が農業に従事していることも聞き及んでいる。本市においても、多くの若者が農業に興味を持ち、本格的に就農するまで導いていくことが必要と考えている。

**問** 西彼町小迎地区、下岳地区、西海町面高地区の基盤整備事業の進捗状況と今後の工程を伺う。

**市長** 小迎地区は、本年度事業採択された。区画整理面積は13・8ヘクタールで、現在、測量設計と換地原案の策定中である。面高地区は平成31年度に事業採択予定で、72・4ヘクタールの規模で事業認可申請等の準備を進めている。また、下岳地区は平成32年度の採択予定であるが、規模については精査中で、約30ヘクタールを予定している。いずれの地区も県営事業として、完了まで6年を予定している。



基盤整備が完了した西海町丸田地区

## 自然災害時の対応について

**問** 平成30年7月の台風7号に伴う市災害対策本部設置は。

**市長** 五島列島付近を北上した台風7号接近に伴う7月2日の暴風警報発表時に警戒本部を設置し、本庁、各総合支所に職員を配置した。消防団各分団は危険箇所の見回り、道路への倒木の除去作業等に取り組んだ。

**問** 大規模災害に対する防災意識を高める市の取り組みとして、防災訓練は必要だと思いが。

**市長** 西海市防災訓練は来年9月1日実施すること、関係機関と調整をしている。



平成31年消防出初式

## 被災農業者向け経営体育成支援事業について

**問** 西海市の台風7号による農林水産業の被害状況は。

**市長** 農作物被害として、野菜や果樹類の被害が1790万7千円、



なか おきよとし  
**中尾 清敏** 議員

ビニールハウスや宿舍などの施設災害の被害額が6658万6千円であり、被害戸数は95戸である。

**問** 被害農業者への助成は。

**市長** 助成対象経営体は30件である。事業の補助率は施設の修繕、再建に係るものは国が事業費の50%以内、県が5%以内、市が15%以内である。

## 七釜鍾乳洞界隈の開発と中浦ジュリアン記念公園の整備計画について

**問** 中浦ジュリアン記念公園の整備及び管理状況は。

**教育長** 西海市の文化施設として教育委員会が管理している。現在西海市シルバー人材センターに委託して、トイレ清掃を2週間に1回、草刈り及びせん定作業は年に3回行っている。

施設周辺の雑草や樹木が生い茂り、苦情もあるため、今後は草刈り及びせん定作業の回数を増やすなど、適切な維持管理に努める。

**問** 中浦ジュリアン記念公園及び周辺の用地確保の状況は。

**市長** 9月定例会において2名分の土地購入について議決された。周辺の用地確保は、長崎と天草の潜伏キリシタン関連遺産の世界文化遺産登録に伴い、来場者の増加を見越した対応として、大型バス駐車場の整備について研究する。





# 一般質問



ともなが ひろき 議員  
**朝長 隆洋**

## ▼債権管理課の今後の取り組みは

**問** 債権の一元管理を実施する目的で新設された債権管理課で、税や使用料などの滞納状況を全体的に把握し、管理することで、今後の納付など、滞納者の実情に即した対応を互いに相談できると考えるが、実施するための課題は何か。

**市長** 水道使用料など、税以外の債権に係る所管課への税に関する情報提供は、地方税法に抵触するため、これを行うことができないなど、法令上の規制が課題となっている。

**問** 滞納となっている理由は様々で、多重債務となっている状況も少なくない。それぞれの実情に応じた債務者の救済が必要と考えるが。

**市長** 債務者側の視点に立ち、多重債務者を救済するためにも、債権を一元化して把握し、指導していくことも必要だと考えている。

**問** 債権管理課設置の際に参考とした船橋市などでは、課題をクリアし、十分に課を機能させている。今後どう取り組むのか。

**市長** 今後、債権管理の一元化に向けた各所管課の意識統一を図るとともに、西海市における最適な組織一元化のあり方の検討について全庁的に取り組んでいく。

## ▼高校生による模擬議会開催を

**問** 市内の高校生による模擬議会を開催する考えは。

**市長** 私が市長に就任してからは、人が集まっているところに私が直接出向いて意見を交換することを基本としているので、高校生についてもそのように対応していく。



## ▼パールテクノ西海について

**問** 第1工区の工場等、企業誘致の進捗状況と、2工区約3・9ヘクタールの造成については、1工区の分譲が完了次第、着工の予定であったが、その時期がかなり延期されるようである。今後の造成計画の見通しについて伺う。

**市長** 風早地区に造成した工業団地4・3ヘクタールの分譲面積のうち、現在2・3ヘクタールは未売却となっており、鉄工所の立地決定以降は進展がない。本市の重要課題が担保され、将来にわたり本市で成長していただける企業が最適である。県産業振興財団と連携を図りながら誘致活動を展開する。2工区の造成における

今後の計画の見通しは1工区の分譲の見通しが立った時点での経済情勢や市の財政状況などに



パールテクノ西海



みやもと かずあき 議員  
**宮本 一昭**

を行い、着工時期について判断したい。

## ▼西海市土地対策要綱について

**問** 東日本大震災以降、省エネルギーの推進や、再生可能エネルギーの導入が盛んに行われてきた。地域によっては業者の無秩序な土地の開発造成により、大きな弊害を生じているところがある。地区集落、農地、河川等に隣接した土地の開発を行うとすると場合には、現在の要綱をより厳しく見直し、開発行為をしようとする者に対し細微な計画の提出を要請するべきだと考えるが、市長の考えを伺う。

**市長** 土地の取引、開発に関する義務について、1万平方メートル以上の土地の売買等については、国土利用計画法に基づき、県への届け出が義務付けられており、土地の形状変更を伴う1万平方メートル以上の開発行為については、都市計画法に基づき、県の開発許可を受けなければならない。市においては、県内の他市町よりも厳しく、土地の形状変更を行う5千平方メートル以上の全ての開発行為について、市土地対策要綱に基づき、市への届け出を義務付けており、当該届出に基づき、農林地及び公共用地の保全、治水、治山、公害の防止等に配慮し、適切な行政指導に努めている。



# 一般質問



うちのしげき  
**内野 繁樹** 議員

## 医療に特化した専門部署の設置について

**問** 本年11月、厚生常任委員会の行政視察において、改めて本市の医療体制構築のために専門部署の必要性を実感した。

**市長** 市民、民間、医療機関との連携をスムーズに行っていくためにも必要であり、1日でも早い設置を行っていただきたい。市長の見解を伺う。

来年度の組織改正の中で、健康ほけん課内に医療政策班（仮称）を新設し、市民が安心できる地域医療供給体制の維持及び既存医療機関の承継や強化について支援していきたい。

## 大島町のひょうたん池の悪臭に対する抜本的対策について

**問** 昨年度も同趣旨の質問について答弁をいただいたが、解決には至っていない。スピード感ある抜本的対策を取れないのか。

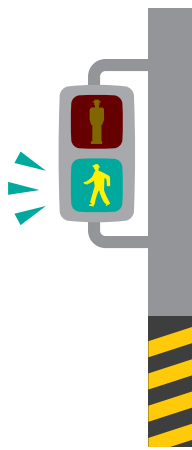
**市長** 臭気の原因となっている池の入り口に堆積した土砂を取り除く

対策に直ちに掛かりたい。来年度の当初予算において、既存の汚泥沈殿槽に曝気装置を設置するなど改良を行うとともに、側溝や側溝脇の法面にコンクリートを張り、水の滞留解消や落ち葉対策など環境整備を提案していく。

## 新たな信号機の設置について

**問** 大島大橋より寺島側に約200メートル先の四差路は朝夕の時間帯は通行する車が多く、住民や子ども達も県道を横断するのに大変苦慮している。馬込港の埋め立てに伴い交通量はさらに増加すると考えられる。住民の安全確保のため、事故を未然に防ぐことは重要であり、市として信号機の設置を要望すべきと考えますが、市長の考えを伺う。

**市長** 県警より押しボタン式信号機の移設であれば可能との提案があり、関係行政区の間で協議を経て同意を得たため、市から西海警察署を通じて長崎県警交通規制課に移設の要望を伝達した。県公安委員会の判断を待ち、実現が難しいようであれば、さらに強力に信号機の設置の要望を行いたい。



あさだな  
**浅田 直幸** 議員

## 空き家対策について

**問** 空き家を活用して人口増につなげる施策について、調査研究を行っているか。

**市長** 移住者向けの住宅以外に、田舎暮らし体験施設やゲストハウスとして活用するなど、交流人口を増やすための取組みを進めている。



空き家対策は急務の課題

**問** 倒壊寸前で大変危険な状態の空き家に対してどう対処するのか。

**市長** 特別措置法をもとに、西海市空き家等対策の推進に関する条例を整備し、法と条例に基づいて空き家対策に取り組んでいる。

**問** 空き家バンクの登録状況と利用状況、賃貸売買契約の状況について伺う。

**市長** 平成30年10月までに新規登録数100戸、賃貸契約は52戸、売買契約が25戸である。

## 市内高校生への補助制度について

**問** 模擬試験・資格試験の費用の助成及び下宿等の補助制度の創設は。

**教育長** 従前の特色ある学校づくりの支援事業の内容を見直し、進学や就職に必要とされる各種試験の受験料金の補助について検討している。下宿等の補助制度については優先的に取り組む支援策であるかを検証し、引き続き研究していきたい。

## 特定不妊治療費助成事業について

**問** 3年間の結果と今後の取組みについて伺う。

**市長** 現在までに18組の夫婦に助成を行っており、うち11組が妊娠につながっている。今後は支援の在り方についても検討していく。



# 一般質問



たがわまさき 議員  
田川 正毅

## 松島・平島・江島を元気に！

**問** 離島振興の為『島の活性化助成金制度』の立ち上げを提言する。

**市長** 「西海市離島振興事業補助金交付要綱」を施行し、島民や団体に対して補助金を交付する。島の課題解決や地域間交流・離島振興に努めたい。

**問** ミツバチは環境指標生物と言われている。養蜂業に取り組むことは収入増加と共に環境への関心も高まり、西海ブランドの特産品造りにもなると考える。市長の考えを伺う。

**市長** 行動半径が狭い日本ミツバチの養蜂は、雑木林が広がる離島では可能と考える。今後検討する。

## 港湾の防犯カメラ・外灯の設置を

**問** 全国的に沿岸部で船外機や養殖魚などの窃盗被害が報告されているが、西海市での被害状況と対策を伺う。

**市長** 漁協への報告では、平成26年度から本年まで船外機7件、水産物6件の被害が発生している。

## 榎浦地区の再開発について

**問** ビジネスホテル建設計画に伴う榎浦地区の再開発の方針を伺う。

**市長** 諫早市に本社を置くホテル事業者よりホテル立地の申し出があり、議会・大瀬戸地区行政区長会へ説明したあと、大瀬戸町の全ての宿泊施設を訪問し説明した。区長会では地域活性化につながるなどの意見が出された。また、直売所「大瀬戸ふれあい市」とは協議を重ね平成31年3月を目途に移転していただくことを役員の皆様にはご了承いただいている。多目的広場への榎浦公民館移転については、利用者や関係者の御意見をよく聞きながら検討したい。

榎浦地区の再開発の方針を伺う。



ホテル建設予定の旧瀬戸地区公民館跡地

## 長崎オランダ村について

**問** 無償貸与期間が残り7年3カ月となった中、長崎オランダ村と具体的にどのような関わりを持っているのかを伺う。

**市長** 関係課の職員が定期的に営業活動等の報告を受け、意見交換を行うとともに、市は長崎オランダ村が開催するイベント等の情報発信を支援し、長崎オランダ村は観光情報コーナーで、市の観光情報を発信するなど、本市の観光情報の発信に協力して取り組む。

**問** 長崎オランダ村のシンボルとも言える風車を回す考えはないのかを伺う。

**市長** 風車自体は老朽化しており、運転を再開させるためには多額な費用が発生すると予想されることから、直ちにこれを運転するということは考えていない。



ひらいみつひろ 議員  
平井 満洋

## 総合支所について

**問** 各総合支所の職員数は妥当なのかを伺う。

**市長** 各総合支所の職員数については、西彼10人、西海10人、大島9人及び江島平島出張所を含む崎戸総合支所が11人となっている。各総合支所に限らず、本庁を含めた各部署の職員数が妥当であるか否かについては、その時々々の所管事務事業の内容や職員配置の状況、地域ごとに抱える懸案事項等の内容に応じて毎年見直しを行っており、現時点では適正な配置と考えている。

**問** 西海市職員の給与について

**市長** 西海市職員のうち、年収500万円以上の在職者数は、議員や市長、副市長、教育長の各特別職及び診療所の医師等を除き、平成29年度実績で344人中257名となっている。

西海市職員の給与について



長崎オランダ村の風車



# 一 般 質 問



と うら よしひこ  
戸 浦 善 彦 議員

## 西海市の均衡あるまちづくりについて

**問** 西海市が誕生して14年が経過したが、行政区長報酬等については、未だ統一されておらず均衡がとれていない。他に統一されていない事項があるのか伺う。

**市長** 行政区長の報酬については未だに旧町ごとの算定方法が統一されておらず、また、西彼及び西海地区にのみ分区長を置くなど制度の統一もできていないのが現状であるが、これ以外の事務事業の主要な部分については、ほとんどの事項が統一されたものと考えている。

## 人口減少対策について

**問** 人口が減り続けている現状を踏まえ、2060年に人口3万人という目標の達成に向けた取組みの進捗状況を伺う。

**市長** 2060年に人口3万人という目標にはこだわっていない。

**問** 市外から通勤している市職員及び市内小・中学校に勤務する教職



市長室前の看板

員は現在何名なのか。また当該市職員及び教職員が全て西海市内に住民登録、居住した場合、地方交付税の増加額はいくらになるのか。

**市長** 正規任用の職員364人中62人、教職員240人中100人が市外からの通勤者となる。住民として居住した場合の地方交付税の増加額は、総額で約2900万円となる。

## その他の質問

- 西海市の将来像をどのように描いており、それをどのように実現していくかと考えているのか。
- 合併以前の旧町において公費を投入しながら、合併後に中断している事業はどれだけあるのか。また今後それらの事業についてどのように取り組むのか。
- 合併後に閉校となった小・中学校校舎の利活用の現状について。
- 水産業、農業、観光業等について、地域間の均衡ある発展のため、どのような振興策に取り組んでいるのか。



な かざと さとる  
中 里 悟 議員

## 平成31年度予算について

**問** 基本的方針と予算規模について伺う。

**市長** 地場産業育成と地域力の強化、教育施策の重点化、市民目線の行政と福祉政策、未来につながる農林水産業・商工観光業、子育て支援・女性の社会参画、定住環境、高速ネットワーク整備、島の暮らし支援といった政策課題を実現するため、新年度の市政運営のテーマを「飛躍への挑戦、新たな西海市」として積極的な変革を図りたい。

**問** 人口減少対策の具体的方策は。

**市長** 地方創生交付金や有人国境離島法など有利な財源を最大限に活用し、新しい発想により取り組むたい。

## 農業振興策について伺う。

**市長** 短期的にはブランド化への取組みを、中期的には各地区の基盤整備事業を着実に実行し、効率的な営農と担い手の確保につなげたい。

また、長期的には将来を見据えた新規作物の普及促進に取り組むたい

と考えており、実現に向けた予算を計上する。

## 公有財産の跡地の取扱いについて

**問** 廃校となった小中学校跡地の利活用等は。

**市長** 利活用を検討する企業や団体の求めに応じ、施設の見学等に対応している。体育館やグラウンドは社会体育施設に変更している。利活用策については、公有財産利活用推進本部の中で検討している。

**問** 旧西海町、旧崎戸町の庁舎跡地の活用と解体に係る費用について伺う。

**市長** 駐車場や公園化など地元の要望も踏まえ検討を行っている。解体費用については、概算では、旧西海町庁舎は約7700万円、また、旧崎戸町庁舎は約3600万円の解体費用がかかる見込みである。



旧西海町庁舎



すぎやま せいじ 議員  
杉山 誠治

### 道路環境の整備について

**問** 市道沿いの雑草の繁茂や側溝の詰まりは、対策が必要と考える。

各総合支所、自治会、道路に係る部署へ、道路環境の整備に係る予算を増額する考えがないか伺う。

**市長** 西海市内には1278路線、943kmの市道があり、建設課に作業員4名、各総合支所に地域支援員2名を配置し、道路の路面及び路肩等の補修や側溝の清掃、除草などの管理作業を行っている。また、自治会や愛護団体の道路の除草や清掃の活動の支援をしている。さらに、今年度から路肩及び土羽のコンクリート舗装を4年間の計画で約4km延長を実施する。担当部署からの予算要求があれば、増員を考えていきたい。

### 介護予防について

**問** 平均寿命は延びつつあるものの、健康寿命はそれに追いついていないため、要介護期間が少しずつではあるが伸びてきている。本市介護保険制度維持のためにも、将来に向けて

「フレイル（虚弱化）予防」・「健康寿命延伸」をどのように図るのかについて伺う。

**市長** 地域支援事業の中で、訪問型サービスとして家事援助を行ったり、通所型サービスとして基礎体力や筋力の維持向上、認知症予防の事業を実施している。また、介護予防の普及啓発のため、出前講座等を活用し、介護状態の原因となる疾病の予防が健康寿命の延伸につながることを伝えたり、いきいき100歳体操の支援を行い、生活支援サポーターや介護予防サポーターの養成を続けている。また、わいわいサロン事業を実施している団体に支援を行っている。

**問** 健康な方を対象にしたフレイル予防のための通信簿やチェックリストをつくり、特定検診や家庭訪問の際に活用してはいかがか。

**市長** チェックリストの作成は、実施に向け検討していきたい。



### 西海市議会より感謝状を贈呈

平成30年秋の叙勲において旭日小綬章に浴されました元西海市議会議員 佐々木義信様（写真・前列右）、同じく元西海市議会議員 中野良雄様（写真・前列左）へ、西海市議会から、長年にわたり市議会議員として地方自治の発展伸張に寄与されたことへの感謝状の授与、花束の贈呈を行いました。



### 第5回市民と議会のつどいを開催

『市民と議会のつどい』は、これまで市民と議会の意見交換の場として開催してまいりましたが、より多くの方々との意見交換を行うため、昨年より意見交換の対象に市内の公的団体等を加え活動しています。本年度は、西海市商工会と長崎県立大崎高等学校と意見交換を行いました。



#### 西海市商工会

開催日：平成30年10月26日（金）  
開催場所：西彼農村環境改善センター  
参加者：西海市商工会理事（17名）



#### 長崎県立大崎高等学校

開催日：平成30年11月12日（月）  
開催場所：大崎高等学校  
参加者：大崎高等学校生徒及び担当教諭（21名）



## 厚生常任委員会 所管事務調査報告

### 調査件名

地域医療を守る取組みについて

### 調査日程及び対象

平成30年11月5日（月）  
広島県府中市 府中市役所  
平成30年11月6日（火）  
島根県益田市 益田市役所



広島県府中市役所での調査

### 概要

広島県府中市では、旧上下町との合併により受け入れた市立病院を地方独立行政法人化し、中核病院とし

ての役割を支援しつつ、市内診療所医師の高齢化を見据え、その解決には市内診療所医師を中心としたプライマリケア体制の確保が必要であるとの認識の下、市外からの医師招聘や既存医療機関の承継支援及び新規医療機関開設に対する補助金制度を設けており、また、将来医師として府中市内の医療機関に勤務する意思を有する医学生に対して奨学金制度を設けるなど、市独自に医師確保の取組みを行っている。

また、島根県益田市では、今ある医療資源を支えつつ、新しい医療人材の招へい、将来の医療を担う人材育成への支援と小中学生への地域医療教育の推進など、将来の地域医療の確保に向けた多面的な事業を推進している。さらに、市立病院を有していないため、市内の3つの病院に対し、地域医療を担う公的病院とみなして補助金を交付しているなど、公立病院を新設するのではなく、既存の病院との連携強化の元、公的病院としての役割を担ってもらう手法は非常に参考になった。

### まとめ

西海市では、市内診療所医師の高齢化や当該診療所の承継などを鑑み、将来、医療空白地帯が生じる懸念があり、医師確保は早急に解決すべき課題である。今回視察調査した府中市と益田市も、全く同様の問題を認



島根県益田市役所での調査

識していたが、その取組みには本市と大きな差がある。

府中市、益田市が充実した事業を展開することができるとの要因は、医療政策に特化した部署の存在と、地域医療に係る事業に対し、応分の予算措置がなされていることにある。

府中市は健康政策室、益田市は地域医療対策室を設置しており、人員配置は3名程度ではあるが、将来を見据え、県の医療政策部門との人事交流による医療政策に長けた市職員育成を行っている。また、地域医療対策に専念できる業務配分がなされていることが、充実した事業の形成や医療機関、医師会などとの強固な連携の構築につながっている。加

えて、当該事業に対する十分な予算措置がなされているというところは、市が一丸となって地域医療の課題を解決していくという市長の姿勢を読み取ることができる。

本市においても12月定例議会一般質問の市長答弁において、健康ほけん課内に医療政策班（仮称）を設置することが表明されたが、職員の人材育成、地域医療問題に専念することができるとの業務配分と人員配置、事業に対する予算措置を十分に行った上、市内医療機関や医師会等との信頼関係の構築を慎重に進め、西海市の地域医療供給体制の維持及び強化に努めていただきたい。

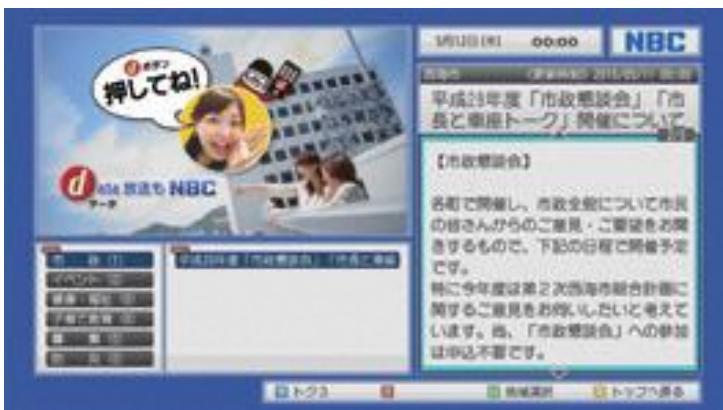
また、府中市では「府中市の地域医療を守り育てる条例」を、益田市では「益田市地域医療推進条例」を議員発議により制定している。特に益田市においては地域医療提供体制の確保を進めるため、市議会議員がそれぞれに学びを深め、様々な活動に参画していたことが印象的であった。本市議会における西海市の地域医療に対する共通認識を深めるために、厚生常任委員会ですらなる調査研究に努めていきたいと考えている。



# 西海市の情報をテレビ画面上で確認できます！

地上デジタルテレビのチャンネルをNBC長崎放送に合わせてリモコンの@dボタンを押すと、いつでも手軽に西海市が発信する情報を見ることが出来ます。テレビの地デジ化が完了し、長崎県内で地デジの電波が受信可能な場所であれば、無料で閲覧が可能です。(実施している他自治体の情報も閲覧可能) 配信時のアクセ

ス集中による通信障害の心配ありません。6項目に分けてくらしに役立つ情報を発信していますが、**議会定例会前には議会の日程や市政一般質問の登壇順、質問項目なども発信しております。**  
ぜひご利用ください。



①チャンネルをNBC長崎放送に合わせてリモコンの@dボタンを押す

②「自治体情報」を選択し、リモコンの緑のボタン「地域選択」を押した後「西海市」を選択

③6項目から1項目選択

④確認したい内容を選択すると右側に詳細が表示される



# 議場を改修 しました!!



西海市議会では、議会改革の推進の一環として、平成30年第3回(9月)議会定例会終了後から議場改修工事を行い、第4回(12月)議会定例会から運用を開始しました。

新しくなった議場で、市議会を傍聴してみませんか?

## 議場改修の内容

### 大型モニターの設置

議場の前後に大型のモニターを2台設置しました。これにより発言者の映像等が表示されるようになりました。また、写真やデータ等を取り入れてモニターに表示することができ、より分かりやすい議会の実現の一助になっています。



### 電子採決の導入

個々の議員がそれぞれの案件に対して、どのような態度(表決)を示したのか、明確に分かるようになりました。

各議案の表決結果は「市議会だより」にも掲載します。

議案第71号 財産の取得について		
賛成	反対	投票総数
16	1	17

### 質問席・書画カメラの設置

一般質問の追質問は、これまで議員の自席から行っていましたが、今後は新たに設置された質問席から行います。また、質問席に書画カメラを設置したことで、議員が提示した質問に関する資料を大型モニターに表示できるようになり、傍聴席からもご覧いただくことができます。



### 音響設備の更新

音切れやバッテリー切れの心配がないフルデジタル有線マイクを各席へ配置し、また、議場内と傍聴席に計6台のスピーカーを設置し、よりクリアな音声が聞き取れるようになりました。



## 議会中継・録画映像 のインターネット 配信開始!

議場で傍聴することが困難な方でも、いつでもどこでもご自分のパソコンやスマートフォン等により、インターネットによる議会中継や録画放送を視聴することが可能となりました。

### 視聴方法

① <https://sakai-city.stream.jitf.co.jp/> にアクセスする(西海市ホームページからも可能です。)  
② スマートフォンで下記二次元バーコードを読み取る。



ライブ中継は、会議開始からおおむね午前10時)会議終了まで、録画中継は、その日の会議が終了後、おおむね5日後から視聴することができます。

### 視聴開始時期

平成31年第1回定例会  
(2月末開会予定)から

### 視聴できる会議

本会議(定例会・臨時会)







## 行政も議会も 議論を尽くして

西彼町在住

小佐々 泰亮

西海市も発足以来14年が経過しようとしています。西海市まちづくりの柱も「健康の里さいかい」から「くらしの安心、安全、安定」の実現へと表現が変わりました。

いずれも目指すところは「このまちに住んでよかった。子や孫たちも喜んで住めるまちであってほしい」という願いを実現することにあります。

周辺を見回すと、かつて美しい穂波を揺らしていた田んぼの多くが雑草に占領されて

しまつていきます。一方、20年後、現在人口3万クラスの市の人口は30%も減るだろうという予測さえあります。いま、議会、行政にとつて一番重要なことは、目指すビジョンを明確に市民に示し、その実現のための問題、課題を解決していくことではないでしょうか。

市議会は年4回で、一般質問は1会期につき平均して3日間、十数名の議員が行っています。60分という限られた質問時間の中ですが、行政対議会の丁々発止の議論を市民は期待していますし、もっと多くの議員が一般質問を行うことを望みます。また、議案に関する論戦がもっと活発であってほしいと考えます。

行政・教育などの計画、課題について、議会の担当委員、行政担当者、公募・指名市民を含めた会合を適時

設置し、意見交換をはじめ、それぞれの立場で議論を交わし、方向付けがされれば素晴らしいと思います。他の自治体にはない新たな「議会・行政・市民の協働システム」ができるのではないのでしょうか。

最後にもう一つ。議員の皆さん、あなた

たちと意見を交わし、地域の問題を話し合う機会がほとんどありません。もっと地域に根ざした活動を増やしてください。みんながあなたたちに期待しています。

郵便はがき

8572392

郵送される場合は62円切手を貼って下さい。

長崎県西海市大瀬戸町瀬戸檜浦郷2222番地

西海市役所 議会事務局  
「議会広報広聴委員会」行

(議会だより第53号)

裏表紙に  
西海市議会クイズが  
あるよ！議会だよりを  
よく読んで解答してね！



# 第9回 西海市議会 クイズ

## ヒント

答えは全て本誌の中にあります。誌面をよく読んでお答えください。

- ①「平成30年度西海市一般会計補正予算(第4号)」は議案第何号?
- ②議案第66号
- ③議案第77号
- ④議案第88号
- (2) ビジネスホテルの建設予定地である大瀬戸町の地区はどこ?
- ① 板浦地区
- ② 檜浦地区
- ③ 西濱地区
- (3) 平成30年第4回議会定例会から西海市議会議場に導入された、対象となる案件に対する議員それぞれの表決を示す機能は?
- ① 有線マイク
- ② 大型モニター
- ③ 電子採決
- (4) インターネットによる議会中継の開始時期は?
- ① 平成31年 第1回定例会から
- ② 平成31年 第2回定例会から
- ③ 平成31年 第3回定例会から

## 応募方法

下のがきを切り取り、各問題の回答欄に答えの番号を記入し、郵便でお送りいただくか、お近くの総合支所又は市役所本庁議会事務局へご提出ください。

## 締切

平成31年3月7日(木) 消印有効(7日支所提出分まで有効)

## 特典

全問正解者の中から抽選で5名の方に、QUOカード(10000円分)をプレゼントいたします。なお、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

## 「個人情報」の取り扱いについて

ご記入いただきました個人情報、賞品発送などの目的以外には利用いたしません。



## 編集後記

平成の御代ももうすぐ終わりを迎えます。ご皇室の弥栄(いやさか)を壽ぎ奉りますとともに、皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。さて、全国的に議会のインターネット中継が一般化している状況にあつて、出遅れの感否めないものの、ようやく本市議会においても平成31年第1回定例会から始まります。市民に対して、議会情報を広くかつ迅速に提供していく上で有効な手段です。

しかしながら、本市のインターネットの世帯普及率は、人口統計からして決して都市部のそれとは比にならないし、今以上の増加傾向は見込めません。また、広報等の手段として、現状がインターネットを活用する十分な環境が整備されているとも言えなければ、仮にその環境が整備されたとしても利用者は減少していく一方ではありません。このことは、根本的に大きな政策転換とそれによる変化の必要性の暗示であり、広く全国に発信される、議会の「実力」の公開なのです。

市政に対する市民の皆様の一層の御理解と御支援をお願い申し上げますとともに、重ねて、本年が、皆様お一人おひとりにとって、実り多き素晴らしい一年となりますよう心より祈念いたします。

(田崎耕太)



議会広報広聴委員会

## 第9回西海市議会クイズ回答

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

ふりがな

氏名

住所

年齢

歳

議会だよりについての感想またはご意見